

1 日目 7 月 17 日 (土)

A 会場 タワーウィング 2F 桐

7
月
17
日
(土)
プ
ロ
グ
ラ
ム

シンポジウム 1

7月17日(土) 9:00~10:25

SY1 「effector 細胞の新展開」

座長：井上 博雅（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学）

SY1-1 好酸球

中込 一之、永田 真

（埼玉医科大学呼吸器内科、埼玉医科大学アレルギーセンター）

SY1-2 肥満細胞

権 寧博

（日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野）

SY1-3 好中球

宮原 信明

（岡山大学学術研究院保健学域検査技術科学分野生体情報科学領域、
岡山大学病院呼吸器・アレルギー内科）

会長特別講演

7月17日(土) 10:30~11:50

PL 「喘息治療を検証する」

座長：東田 有智（近畿大学病院）

石塚 全（福井大学医学系部門内科学（3）分野）

PL-1 STEP 治療の有効性と問題点

玉置 淳

（東京女子医科大学・GSK）

PL-2 ICS、ICS/LABA の貢献と限界

松永 和人

（山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科学講座）

PL-3 生物学的製剤の導入時期

白井 敏博

（静岡県立総合病院呼吸器内科）

ランチョンセミナー 1

7月17日(土) 12:00~13:00

LS1 「気管支喘息患者の増悪・症状コントロールにおけるチオトロピウムの果たす役割：基礎そして臨床」

座長：多賀谷悦子（東京女子医科大学内科学講座呼吸器内科学分野）

LS1-1 気道疾患におけるムスカリン受容体刺激制御とその有効性

佐藤 篤靖

（京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学）

LS1-2 喘息治療におけるチオトロピウムの臨床的位置づけ

松瀬 厚人

(東邦大学医療センター大橋病院呼吸器内科)

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

教育講演 1

7月17日(土) 13:10~14:05

ES1 「上気道炎症のインパクト」

座長：中田 誠一 (藤田医科大学ばんだね病院耳鼻咽喉科・睡眠呼吸学講座)

ES1-1 アレルギー性鼻炎

川島佳代子

(大阪はびきの医療センター診療局長兼耳鼻咽喉科主任部長)

ES1-2 好酸球性副鼻腔炎の合併

朝子 幹也

(関西医科大学総合医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科/アレルギーセンター)

教育講演 2

7月17日(土) 14:10~15:05

ES2 「小児喘息ガイドライン」

座長：長谷川俊史 (山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座)

ES2-1 JPGL2020 に基づいた小児喘息の治療戦略と今後の課題

滝沢 琢己

(群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野)

ES2-2 日本喘息学会からの提言

吉原 重美

(獨協医科大学医学部小児科学)

スポンサードシンポジウム 1

7月17日(土) 15:10~17:10

SSY1 「Asthma New Treatment Pathway」

座長：金廣 有彦 (姫路聖マリア病院)

SSY1-1 トリプルセラピーの時代を迎えた喘息診療を考える

山口 将史

(滋賀医科大学呼吸器内科)

SSY1-2 重症喘息における次の一手～在宅自己注射による治療も含めて～

浅井 一久

(大阪市立大学大学院医学研究科呼吸器内科学)

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

B会場 タワーウィング 2F 桂

7月17日(土)
プログラム

一般演題 1

7月17日(土) 9:00~9:45

0 「気道炎症、免疫」
座長：石浦 嘉久（関西医科大学医学部内科学第一講座/総合医療センター呼吸器腫瘍アレルギー内科）

- O-1 気管支喘息に対するインフルエンザワクチンフルービック HA の有用性について**
渡邊 直人^{1,2}、中村 陽一³
（聖隷横浜病院アレルギー内科¹、東京アレルギー・呼吸器疾患研究所²、横浜市立みなと赤十字病院アレルギーセンター³）
- O-2 重症喘息における炎症病態と Type2 気道炎症関連バイオマーカーの関連性の検討**
星野 佑貴、柚 知行、内田 義孝、内藤恵里佳、家村 秀俊、片山 和紀、関谷 龍、宮内 幸子、中込 一之、永田 真
（埼玉医科大学病院呼吸器内科、埼玉医科大学病院アレルギーセンター）
- O-3 喀痰中エンドトキシンの喘息気道炎症プロファイルとの関係に関する検討**
片山 和紀、柚 知行、内藤恵里佳、内田 義孝、星野 佑貴、家村 秀俊、関谷 龍、宮内 幸子、中込 一之、永田 真
（埼玉医科大学呼吸器内科、埼玉医科大学アレルギーセンター）
- O-4 喘息治療中止後、早期に FeNO 値の再上昇を来した症例の検討**
高橋 正光、木村 亮
（医療法人光仁会たかはし内科）
- O-5 乳幼児の非 IgE 関連喘息の経過に関する検討**
寺師 義英、加藤 正也、吉原 重美
（獨協医科大学小児科学）

教育講演 3

7月17日(土) 10:00~10:55

ES3 「喘息類縁疾患」
座長：村木 正人（近畿大学奈良病院呼吸器・アレルギー内科）

- ES3-1 ABPA の診断・治療**
山崎 章
（鳥取大学医学部呼吸器・膠原病内科学）
- ES3-2 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）**
関谷 潔史
（国立病院機構相模原病院アレルギー・呼吸器科/臨床研究センター）

教育講演 4

7月17日(土) 11:00~11:50

ES4 「高齢者喘息と ACO」

座長：桑平 一郎（東海大学医学部附属東京病院呼吸器内科）

ES4-1 病態久田 剛志
（群馬大学大学院保健学研究科）**ES4-2 高齢者喘息と ACO における治療戦略**尾長谷 靖
（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学（第二内科））**ランチョンセミナー 2**

7月17日(土) 12:00~13:00

LS2 「生物学的製剤が果たす役割～重症喘息の治療と管理～」

座長：権 寧博（日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野）

演者：白井 敏博（静岡県立総合病院呼吸器内科）

共催：アストラゼネカ株式会社

教育講演 5

7月17日(土) 13:10~14:05

ES5 「COVID-19 と喘息」

座長：藤田 次郎（琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学（第一内科））

ES5-1 小児の立場から工藤 孝広、小嶋まゆき、稲毛 英介、清水 俊明
（順天堂大学小児科）**ES5-2 成人**放生 雅章、飯倉 元保
（国立国際医療研究センター病院呼吸器内科）**シンポジウム 2**

7月17日(土) 14:10~15:35

SY2 「重症喘息」座長：永田 真（埼玉医科大学呼吸器内科/埼玉医科大学アレルギーセンター）
佐野 博幸（近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科）**SY2-1 喘息における Th2 炎症**原田 紀宏
（順天堂大学医学部内科学教室呼吸器内科学講座）**SY2-2 喘息における non-type2 炎症の病態と期待されるバイオマーカー**斎藤 純平
（福島県立医科大学医学部呼吸器内科学講座/福島県立医科大学附属病院臨床研究管理部）

SY2-3 重症喘息児への生物学的製剤導入のタイミング

近藤 康人
(藤田医科大学医学部小児科)

一般演題 2

7月17日(土) 15:40~17:10

0 「EGPA、その他」

座長：廣瀬 正裕 (藤田医科大学ばんだね病院呼吸器内科)
原 丈介 (金沢大学附属病院呼吸器内科)

- 0-6 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) における血清中 IL-5 と galectin-10 に関する検討**
藤田 教寛¹、上出 庸介¹、植木 重治²、福地 峰世²、宮部 結²、岩田 真紀¹、永山貴紗子¹、中村 祐人¹、濱田 祐斗¹、劉 楷¹、渡井健太郎¹、森 晶夫¹、谷口 正実³、福富 友馬¹、関谷 潔史¹
(国立病院機構相模原病院臨床研究センター¹、秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学講座²、湘南鎌倉総合病院免疫・アレルギーセンター³)
- 0-7 多発単神経炎を合併した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対する生物学的製剤の長期使用経験**
古賀 康彦¹、鶴巻 寛朗¹、矢富 正清¹、相川 政紀¹、山口 公一¹、吉見 誠至²、久田 剛志³
(群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科¹、利根中央病院呼吸器内科²、群馬大学大学院保健学研究科³)
- 0-8 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に合併した自己免疫性肺胞蛋白症の 1 例**
堂嶽 洋一、松山 洋美、松山 崇弘、高木 弘一、町田健太郎、井上 博雅
(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学)
- 0-9 methylprednisolone パルス療法施行後に小腸穿孔を来し、救命しえた EGPA の 1 例**
矢富 正清¹、古賀 康彦¹、宇野 翔吾¹、若松 郁生¹、花里 千春¹、増田 友美¹、齋藤 悠¹、笠原 礼光¹、三浦 陽介¹、鶴巻 寛朗¹、原 健一郎¹、砂長 則明¹、前野 敏孝¹、久田 剛志²
(群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科¹、群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学科²)
- 0-10 難治性喘息として加療されていた Excessive dynamic airway collapse (EDAC) が疑われた一例**
原 丈介、古林 崇史、小川 尚彦、武田 仁浩、大倉 徳幸、阿保 未来、笠原 寿郎
(金沢大学附属病院呼吸器内科)
- 0-11 MRI を用いた舌下げ吸入法「ホー吸入」の検討**
加藤理恵子¹、近藤りえ子²、横井 達佳²、堀口 高彦¹、東田 有智³
(豊田地域医療センター呼吸器内科¹、藤田医科大学ばんだね病院呼吸器内科²、近畿大学³)

- O-12 本邦の気管支喘息患者における Dysfunctional breathing の検討**
黒澤 雄介^{1,2}、荒井 弘侑^{1,3}、釋 文雄¹、丸岡秀一郎^{1,2}、權 寧博^{1,2}
(日本大学内科学系呼吸器内科学分野¹、日本大学附属板橋病院アレルギーセンター²、国際医療福祉大学三田病院呼吸器センター³)
- O-13 閉塞性睡眠時無呼吸症候群の重症度と気道過敏性の関係**
佐野安希子、西川 裕作、綿谷奈々瀬、國田 裕貴、吉川 和也、
白波瀬 賢、御勢 久也、大森 隆、西山 理、岩永 賢司、
佐野 博幸、原口 龍太、松本 久子、東田 有智
(近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科)
- O-14 都道府県別のアレルギー学会指導医・専門医数と喘息受療率の不均衡状況および双方の関連**
荒井 一徳、渡邊 直人
(東京アレルギー・呼吸器疾患研究所)
- O-15 術前コンサルトのリアルデータからみた、喘息、咳喘息、COPD、ACOの実臨床に関する考察**
尾長谷 靖^{1,2}、深堀 範²、福島 千鶴^{2,3}、迎 寛^{1,2}
(長崎大学医歯薬学総合研究科呼吸器内科学¹、長崎大学病院呼吸器内科²、長崎大学病院臨床研究センター³)

2 日目 7 月 18 日 (日)

A 会場 タワーウィング 2F 桐

Meet the Professor

7月18日(日) 9:00~10:10

MP 「New Era of Severe Asthma Treatment with Biologics」

座長：横山 彰仁（高知大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科）

演者：Njira Lucia Lugogo（Division of Pulmonary and Critical Care Medicine,
Department of Medicine, University of Michigan）

共催：アストラゼネカ株式会社

シンポジウム 3

7月18日(日) 10:15~12:05

SY3 「喘息学会ガイドライン」

座長：東田 有智（近畿大学病院）

相良 博典（昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門）

SY3-1 診断

佐野 博幸、東田 有智
（近畿大学病院アレルギーセンター）

SY3-2 長期管理

田中 明彦、相良 博典
（昭和大学医学部内科学講座呼吸器アレルギー内科部門）

SY3-3 急性期治療

山口 正雄
（帝京大学ちば総合医療センター第三内科（呼吸器））

SY3-4 専門医紹介と医療連携

保澤総一郎
（広島アレルギー呼吸器クリニック）

ランチョンセミナー 3

7月18日(日) 12:15~13:15

LS3 「喘息におけるトリプル療法の可能性～トータルコントロールを目指すための
Treatment Pathway～」

座長：川山 智隆（久留米大学医学部内科学講座呼吸器内科）

演者：田中 明彦（昭和大学医学部内科学講座呼吸器アレルギー内科部門）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

教育講演 6

7月18日(日) 13:25~14:25

ES6 「重症度と重症化」

座長：玉置 淳（東京女子医科大学・GSK）

ES6-1 喘息の重症度について

小屋 俊之

（新潟大学大学院医歯学総合研究科呼吸器感染症内科学分野）

ES6-2 喘息の重症化要因

杉 知行

（埼玉医科大学呼吸器内科、埼玉医科大学アレルギーセンター）

スポンサードシンポジウム 2

7月18日(日) 14:30~16:30

SSY2 「喘息治療薬の再考；喘息診療実践ガイドラインを踏まえて」

座長：東田 有智（近畿大学病院）

SSY2-1 ICS/LABA からの治療強化は ICS 増量か？それとも LAMA 追加か？

相良 博典

（昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門）

SSY2-2 オマリズマブの位置付け—医療経済の視点を含め—

長瀬 洋之

（帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

B 会場 タワーウィング 2F 桂

一般演題 3

7月18日(日) 9:00~10:21

O 「治療」

座長：熱田 了（秋葉原あつたアレルギー呼吸器内科クリニック）

伊藤 玲子（日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野）

O-16 気管支喘息患者に対する FF/UMEC/VI へ切り替え後の検討

廣瀬 正裕¹、大野 斉毅¹、加藤 研一¹、鬼頭 雄亮¹、横井 達佳¹、
吉田 隆純¹、加藤 圭介¹、桑原 和伸¹、加藤理恵子²、堀口 高彦²、
近藤りえ子³（藤田医科大学ばんだね病院呼吸器内科¹、豊田地域医療センター呼吸器内
科²、近藤内科医院³）

O-17 当院におけるビレーズトリ・エアロスフィアの肺機能改善効果

上田 傑¹、西川 正憲¹、江口 晃平¹、渡邊 弘樹¹、若林 綾¹、
増田 誠¹、草野 暢子¹、金子 猛²（藤沢市民病院呼吸器内科¹、横浜市立大学大学院呼吸器病学教室²）

- 0-18 喘息・ACO 患者に対する ICS/LAMA/LABA の Triple 製剤（テリルギー・エリプタ[®]）の使用経験～使用前後の比較～**
 花田宗一郎¹、山崎 亮¹、山縣 俊之¹、澤口博千代¹、村木 正人¹、東田 有智²
 （近畿大学奈良病院呼吸器・アレルギー内科¹、近畿大学病院呼吸器・アレルギー内科²）
- 0-19 フルティフォーム[™]投与中の喘息 COPD オーバーラップ患者へのスピリーバβ追加投与の臨床的検討**
 石浦 嘉久¹、藤村 政樹²、原 丈介³、大倉 徳幸³、澤井 裕介¹、玉置 岳史¹、清水 俊樹¹、野村 昌作¹
 （関西医科大学第一内科¹、国立病院機構七尾病院呼吸器内科²、金沢大学付属病院呼吸器内科³）
- 0-20 吸入ステロイドの処方頻度とステロイド内服・点滴治療回数に関連について**
 浅田 佳邦
 （浅田クリニック甲賀市）
- 0-21 ベンラリズマブ治療を 1 年行った重症気管支喘息症例の検討**
 三道ユウキ¹、原田 紀宏¹、笹野 仁史¹、安部寿美子¹、原田 園子^{1,2}、渡邊 敬康¹、佐藤 良彦¹、西牧 孝泰¹、加藤由香里¹、上田 翔子¹、田辺 悠記¹、竹重 智仁¹、長岡鉄太郎¹、伊藤 潤¹、熱田 了¹、高橋 和久¹
 （順天堂大学医学部呼吸器内科学講座¹、順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター²）
- 0-22 生物学的製剤を使用中の重症喘息患者で投与間隔延長や休薬した症例の検討**
 原田 智也¹、加藤 竜平²、舟木 佳弘¹、高田 美樹¹、岡崎 亮太¹、森田 正人¹、山崎 章¹
 （鳥取大学医学部附属病院呼吸器内科・膠原病内科¹、山陰労災病院呼吸器・感染症内科²）
- 0-23 好酸球性副鼻腔炎併存重症気管支喘息において抗 IL-5Rα 抗体から抗 IL-4Rα 抗体に切り替えた症例の検討**
 鶴巻 寛朗¹、澤田 友里¹、相川 政紀¹、佐藤 麻里¹、齋藤 悠¹、佐藤真季子¹、古賀 康彦¹、矢富 正清¹、原 健一郎¹、砂長 則明¹、吉見 誠至²、松山 敏之³、近松 一朗³、前野 敏孝¹、久田 剛志⁴
 （群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科¹、利根中央病院内科²、群馬大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科³、群馬大学大学院保健学研究科⁴）
- 0-24 当院における重症喘息患者に対する生物学的製剤の使用状況**
 大倉 徳幸、原 丈介、小川 尚彦、武田 仁浩、古林 崇史、阿保 未来、笠原 寿郎
 （金沢大学附属病院・呼吸器内科）

シンポジウム 4

7月18日(日) 10:30~12:00

SY4 「ICS/LABA に追加すべき薬剤」

座長：平田 一人 (大阪市立大学医学部附属病院)

松本 久子 (近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科学)

SY4-1 ロイコトリエン受容体拮抗薬 (LTRA)

新実 彰男

(名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学)

SY4-2 LAMA

西村 善博

(神戸大学医学部附属病院呼吸器内科)

SY4-3 SRT の位置付け

多賀谷悦子

(東京女子医科大学内科学講座呼吸器内科学分野)

SY4-4 OCS佐野 博幸^{1,2}、東田 有智¹、松本 久子²(近畿大学病院アレルギーセンター¹、近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科²)

ランチョンセミナー 4

7月18日(日) 12:15~13:15

LS4 「気管支喘息治療の目標設定—COVID-19 診療経験から得た考察—」

座長：堀口 高彦 (藤田医科大学/豊田地域医療センター)

演者：今野 哲 (北海道大学大学院医学研究院呼吸器内科学教室)

共催：杏林製薬株式会社

教育講演 7

7月18日(日) 13:25~14:25

ES7 「吸入指導」

座長：岩永 賢司 (近畿大学病院総合医学教育研修センター)

ES7-1 吸入順守の現状と課題

大林 浩幸

(東濃中央クリニック呼吸器内科・アレルギー科)

ES7-2 吸入手技の工夫~新しい吸入動画も含めて~近藤りえ子^{1,3}、堀口 高彦^{2,3}(近藤内科医院¹、豊田地域医療センター²、藤田医科大学³)

スポンサードシンポジウム 3

7月18日(日) 14:30~16:30

SSY3

「重症喘息診療の過去・現在・未来」

座長：金子 猛（横浜市立大学大学院医学研究科呼吸器病学）

SSY3-1 本邦における喘息診療の変遷—ガイドラインを中心に—

中村 陽一
（横浜市立みなと赤十字病院アレルギーセンター）

SSY3-2 難治性喘息における Type2 炎症の役割～生物学的製剤の真価～

福永 興吉
（慶應義塾大学医学部呼吸器内科）

共催：サノフィ株式会社